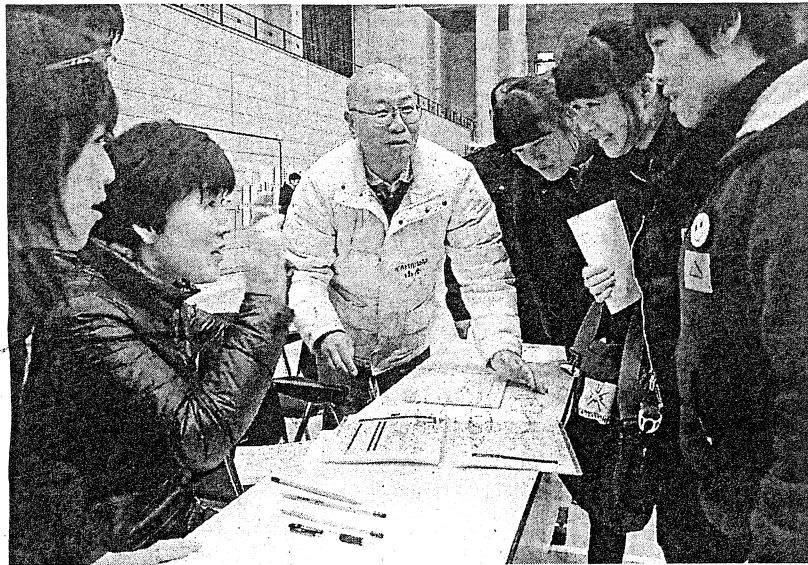


外国人避難者への対応などを学んだ訓練



大規模地震備え 外国人対応訓練

伊勢市

大規模地震に備え、避難所で外国人の避難者に対応する訓練が31日、伊勢市小俣町の市小俣総合体育館で行われた。

外国人の在住者や観光客が増える中、防災対策を見直すため市が昨年度から実施している。災害ボランティアや市職員などの防災関係者約50人と、市内在

住の中国、ミャンマー、ブラジル人など約20人が参加した。

訓練は市内で震度6強の地震が発生したとの想定で、参加者が4班に分かれ、避難所を開設。複数の外国語で注意事項が書かれた掲示物などを使い、避難してきた外国人たち避難所のルールや災害情報などを説明した。

外国人参加者は119番のかけ方なども学んだ。
【新井敦】